

第4学年 図画工作科学習指導案

4年 26名
指導者 立田香江子
授業場 4年教室

1 題材名 願いの種から〈A表現(2)立体に表す・B鑑賞〉

2 題材設定の理由

今のコロナ禍による社会の混乱を誰が予想しただろうか。しかし、自然災害による被災や経済の悪化、海外情勢の変化など、予想もできない状況は児童の未来にも起こりうる。そのような中で、自分の力で問題解決を図り、自分にとってよりよい未来を切り開いていくためには、主体的かつ対話的な学びの過程において「考える」ことを児童に保障する授業を行うことが大切である。本題材においても、児童が「ひと・もの・こと」と豊かにかかわりながら作品を作っていく過程で、造形的な見方・考え方を育くみ、児童の「自立の素地」を育てることにつながると考える。

本学級の児童は、いつも図画工作の時間を楽しみにしており、豊かに発想してのびのびと表現することができている。「絵の具で遊んで『自分いろがみ』」の題材では、21種類の材料に絵の具をつけて、転がしたり、丸めてたたいたり、息をふいて絵の具を伸ばしたりするなど、様々な方法で試しながらテーマに合わせた作品をつくることを経験している。また「トントンつないで」の題材でも、角材と薄い板材をくぎでつなぐことで生まれる形や動きから想像を広げ、動きの面白い作品をつくった。角材をのこぎりで切ったりくぎで角材と板材をつないだりする活動は初めてということもあり、思い通りに表現できずに悩む様子も見られたが、試行錯誤する中で思わぬ動きを発見したり、より面白い動きになるように工夫したりすることができるようになっていった。つくることに苦手意識をもっている児童も、製作途中で友達の作品を見て、イメージを広げたりやり方を真似したり、のこぎりやきりの使い方を考えながら協力して使ったりするなど、友達とかかわりあうことで、製作活動を楽しんでいる様子だった。そこで、個々の技能の優劣にとらわれず、新たな造形的な見方や考え方を生かして自由に発想し、自分の表現したいことを心ゆくまでつくらせたいと考え、本題材を設定した。

本題材は、まず自分の願いや夢からイメージした形を「種」として表現する。そしてそこから伸びる「枝葉や根、茎、花や実」を、未来の自分の姿として表現していく。それぞれの材料のよさや特徴、材料相互の組み合わせから、自分の願いや未来はどのような形や色をしていて、どのような伸び方をするのか、イメージを広げながら自分の表したいものを考え、試行錯誤しながら、工夫してつくりあげていく。それは、自分の思いや自分自身について深く考える機会になり、児童の成長していく過程とも重なる活動になると期待できる。

本題材では、十分な量の多様な材料を準備する。主な材料は紙粘土である。紙粘土は軽くて扱いやすい。着色することもでき、他の材料を包むこともできるので、「種」としてだけではなく、他のパーツにも応用しやすい。その他の材料については、児童も使えそうな材料を集めて持ってくるように呼びかける。最初から題材の趣旨に合ったものを持参させるのではなく、竹ひごのような「細いもの」発泡スチロールのような「軽いもの」といった抽象的で目的の曖昧なものを集められるようにしたい。意図のはっきりしない諸材料が、子どものひらめきによって、「種」や「枝葉」などに変貌する過程を大切にすることで、造形的な見方や考え方を育てたい。また、製作前に夢や願いについて話し合ったり、製作途中で、ミニ鑑賞会を開いたりして、友達の意見や作品から自分の表したいもののイメージを広げられる機会を多く設定するようにする。そのためにもワークシートに、自分の願いをどのような「種」として表現するのかを考える時間を十分に取るようにしたい。材料や友達と豊かにかかわりながら、「願いの種」から自由に広がる自分らしい作品をつくりだせるように、支援していきたい。

3 題材の目標

- (1) 自分の思いを表現することを通して、材料のよさや組み合わせの面白さが分かり、形や色、表し方を工夫して表す。(知識・技能)
- (2) 身近な材料や用具の特徴を生かした表現の仕方を考え、試しながら自分のイメージをどのように表すとよいかを考えるとともに、友達の表現のよさを感じ取ることで、自分の見方や感じ方を広げる。(思考力・表現力・判断力)
- (3) 自分の願いや夢を伝える表現の仕方に関心を持ち、楽しんで取り組もうとする。(学びに向かう力)

4 題材の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・材料のよさや組み合わせのおもしろさに気付いている。 ・用具を適切に扱いながら、材料を生かした表現を工夫している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料や道具の特徴を生かした表現の仕方を考えている。 ・試しながら自分の表したいイメージを広げている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の願いや夢を伝える楽しさを味わいながら取り組もうとしている。 |

5 指導と評価の計画 (全8時間 本時6/8)

| 時間 | ねらい・学習活動 | 評価の観点 | 評価方法等 |
|-------------|---|---|---|
| 1 | <ul style="list-style-type: none"> ・願いや夢について話し合い、自分の夢や願いをどのような「願いの種」に表せそうかイメージを広げながらワークシートに書き出す。 | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">思</div> ◎ <div style="margin: 5px 0;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">態</div> ○ </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・「願いの種」をどのように表そうとしているのか、話し合いの様子を観察したりワークシートを見たりするなどして把握する。 (観察・ワークシート) |
| 2 3 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢や願いをかなえてくれる「種」を、材料や表し方を工夫しながらつくる。 | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">技</div> ◎ <div style="margin: 5px 0;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">態</div> ○ </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・材料や表し方を、どのように工夫しているのか、観察したり声をかけたりして把握し、指導に生かす。 (観察・対話・作品) |
| 4 | <ul style="list-style-type: none"> ・「種」からどんな枝葉や根、茎が育ち、どんな花や実になるか想像を広げ、材料の特徴や組み合わせの違いを生かして表す。 | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">技</div> ○ </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・材料や道具の特徴をどのように生かしてつくろうとしているか、つくる様子や作品を見たり、問いかけたりして学習状況を把握する。 (観察・対話・作品) |
| 5 6 7 | <ul style="list-style-type: none"> ・ミニ鑑賞会で友達の作品や発想から、さらに材料の特徴や組み合わせの見方やイメージを広げ、自分の作品に生かしてつくる。 | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">思</div> ◎ <div style="margin: 5px 0;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">態</div> ○ </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の作品から、どのようにイメージを広げてつくろうとしているのか、ワークシートやつくる様子、作品から把握する。 (観察・ワークシート・作品) |
| 8 | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の表し方の工夫や違い、よさについて感じ取ったことを伝え合う。 | <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">思</div> ◎ <div style="margin: 5px 0;">(鑑賞)</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px 5px;">態</div> ○ </div> | <ul style="list-style-type: none"> ・自分や友達の作品を見て、違いやよさをどのように感じ取ったのか、話し合いの様子や発言内容、ワークシートの感想から把握し、指導をふりかえる。 (観察・ワークシート) |

6 本時

(1) 目標

鑑賞した友達の作品を元にイメージを広げ、表し方や工夫の仕方を考えたり試したりしながら表現する。

(2) 展開

| 学 習 活 動 | 指導上の留意点 | 学習活動における 具体の評価規準 | 評価 方法 |
|--------------------------------|--|------------------------------|------------------|
| 1 本時の学習活動やめあてを確認する。 | ○前時までの活動を振り返り、本時のめあてを確認し、学習の見通しをもたせる。 | | |
| 友達の工夫しているところを、自分の表現に生かして作ろう。 | | | |
| 2 鑑賞した友達の作品の工夫されている部分について発表する。 | ○友達の作品のよさや工夫した点を材料の組み合わせ方の違いや新しい使い方などに着目しながら、発表を聞けるように、黒板に観点を示す。 | 友達の表し方のよさや工夫を感じ取っている。 【鑑賞】 | 発言 ワーク シート |
| 3 「種」から伸びる枝葉や、茎、根、花や実をつくっていく。 | ○話し合いの中での気づきを自分の表現に生かせるように、考えを聞き取ったり、表現例を提示したりし、多様な試し方を探れるよう支援をする。 | 自分の表したいイメージを工夫してつくっている。 【技能】 | 作品 対話 |
| 4 振り返りカードに記入し、本時の学習を振り返る。 | ○本時の活動を振り返り、次時への活動につなげる | | |

(3) 評価及び指導の例

| | |
|------------------------------|--|
| 「十分満足できる」と 判断される状況 | <p>材料の特徴や材料相互のよさを生かした表し方や組み合わせ方に着目して、自分の表したいものを思いつき、工夫している。</p> <p style="text-align: right;">【思考】</p> <p>自分の表したいものを、考えたり試したりしながら、工夫してつくっている。</p> <p style="text-align: right;">【技能】</p> |
| 「おおむね満足できる」状況を実現させるための具体的な指導 | <p>多様な材料の特徴を触りながら味わわせたり、願いや夢をワークシートに書かせたりして、自分の表したいものと材料がつながるよう支援する。</p> <p>話し合い活動を導入と製作途中に設定し、友達の表現からイメージが広げられるようにする。</p> |

題材名 願いの種から

目標 (1) 鑑賞した友達の作品を元にイメージを広げ、表し方や工夫の仕方を考えたり試したりしながら表現する。

展開 (本時6/8)

| 教師のはたらきかけ | 児童の反応 |
|--|--|
| <p>1 前時のふりかえりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 願いの種。昨日はなにをしましたか。 ○ ミニ鑑賞会をしましたね。まだみんな途中ですね。参考になりましたか。 ○ 前は材料がみんなを助けてくれたけど、今日は友達の作品が助けてくれるんじゃないかな。今日の目当てはこれにしたいと思います。心の中で読んでね。〈めあて提示〉 <p>2 発表をする。(全体で)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんどころが参考になったか言ってもらおうと思うんですが、鑑賞のポイントふたつあったね。何でしたか。 ○ この二つを中心に見てねって言ったね。じゃあ、まず工夫しているところを発表してくれるかな。誰のかも言ってあげてね。 <div data-bbox="185 1496 641 1836" data-label="Image"> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ こまねしたいなと思うところなかった。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 完成していないやつを鑑賞した。 ○ 参考になった。 <div data-bbox="842 846 1442 981" data-label="Text" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友達の工夫しているところを、自分の表現に生かして作ろう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 材料のよさを発見しているか。 ○ ミラクルな材料の組み合わせ。 ○ 消防車の上の部分を粘土とガムテープの芯で表していたのがよかった。 ○ Mさんのストローを切って紙粘土にさしているのが工夫しているなと思った。 ○ Sさんの、ストローを細かく刻んでいろいろなところにさしていたところ。 ○ カップの中に入っているお米を、粘土とプチプチを使って表現しているところ。 ○ Mさんいろんな色の粘土をつかっていたところが工夫していると思った。 ○ Aさんのアルミでクリームがあるところを表現していたところ。 ○ Yさんのようじをつかって野球のボールが飛んでいくのをあらわしていたところ。 ○ Sさんの花のスポンジをボタンみたいに |



- 自分の作品では何につかうの。
- 材料以外でもこれいいなっていうのを書いていた人いたよね。Y君, K君のまねしたいって、どういことだった。
- みんな書いていたことたくさんあったけど、いかせそうですか。こないだは材料だったけど、今回は友達のをいかせそうですね。つくるときですが、切るときは先生に言ってください。それと、竹ひごみたいな長いものは目を突いたりしたらあぶないので十分気を付けてください。今日もミラクルがおきるかな。じゃあやってみましょう。30分しかないけど50分までやりましょう。

3 つくっていく。(個人で)

- こっから広がっていくかな。
- スポンジははさみできりわけてみよう。
- すごいかわいい色。
- これ何かになりそう。
- 紙粘土の上から補強したら？固まった？何になるかわからんけど回したらどうなる？

- ていたから、ぼくはつまようじにさして、花が咲いているようにしたい。
- Iさんの割りばしをたくさんさして派手にしているところをまねしたい。
 - Fさんのひもを横にくっつけて、そこにひもを通して揺れるブランコをつくっていて、ぼくもどこかでまねしたい。
 - Hさんのカラーモールをねじり合わせたものを伸ばしているところをまねしたい。
 - Uさん、ビーズを中に埋め込んでいるところがいいなと思った。
 - Tさん、人の大きさがいい感じで上手につくっていた。
 - 人の大きさとか。
 - ゲーム機からいろいろな発想ができていた。紙粘土をあまり使わず材料をたくさん使っていた。材料も少しは使おうと思った。

友達の意見や自分が見つけた友達のいいところを参考にして、種から広がる茎, 枝, 葉っぱ, 根をつくっていく。

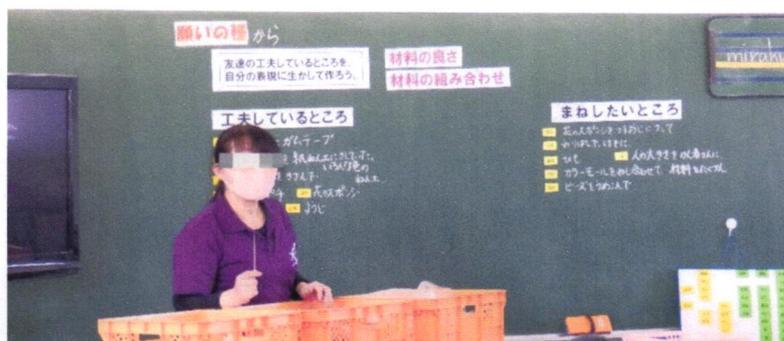


- スチロールめっちゃ鉄につく。
- メラミンスポンジを人にしようかな
- 人の手は竹ひごでいいかな
- こんなに水色粘土いらなかった。
- 俺任天堂スイッチつくる。
- 赤, 青, 黒がいるなあ。

| 教師のはたらきかけ | 児童の反応 |
|--|--|
| <p>○ 友達の見てくる？</p> <p>○ 粘土に練りこまないでもかわいてから上から縫ってもいいよ</p> <p>○ 粘土足りるかな。</p> <p>4 今日つくった感想を言う。(全体で)</p> <p>○ ミラクルありましたか。友達の工夫しているところやまねしたいところをつかってみたらけっこううまくいったね。</p> <p>○ どれ、これおもしろいよ。材料言ってください。</p> <p>○ 下に何を使ってるんかなと思ったら、トイレットペーパーの芯だったんやな。B君参考になったんやって。他にありませんか。この人のこの材料の使い方とか、まねしたのありませんか。</p> <p>○ 糸と粘土で釣り竿になったん。ちょっと見てみて、これはすごいよ、指さして。ミラクルやな。ほかにありませんか。</p> <p>○ 見せて。みんな手止めてよ。これやな。紙粘土とよくわからないもの。他ありますか。</p> <p>○ 見て。どうかな。ハシビロコウはどこいったん。ああ、ここにおるんやな。水そうができたんやな。おもしろいな。ほか言いたい人いますか。次の時間で完成するかな。次の時間に続きしたいと思います。材料は足りていますか。足りないもの、欲しいものがあったらまた持ってきてくださいね。</p> | <p>○ これ何に使おう。</p> <p>○ 切りにくい、カッター使ってもだめだった。</p> <p>○ ペットボトルキャップ切れん。</p> <p>○ めあてのものがあつたけど色が・・・。</p> <p>○ モールがない。</p> <p>○ B君のユーチューブのマークをつくったらユーチューバーっぽくなった。</p> <p>○ トイレットペーパーの芯と紙粘土。</p> <p>○ 糸と粘土でつりざおをつくろうとした、うまくつりざおっぽくなった。</p> <p>○ 紙粘土と、こんな・・・何だろう。これと・・・紙粘土でつりざおになった。</p> <p>○ カップと水色ストローで水そうになった。</p> <p>○ はい。</p> <p>○ モール。</p> |



板書



1 課題点

- (1) 絵や立体，工作に表す活動を通して，表したいことを見付けることや，どのように表すかについて考えることができるようにするにはどうすればよいか。
- (2) 絵や立体，工作に表す活動を通して，表し方を工夫して表すことができるようにするにはどうすればよいか。
- (3) 鑑賞する活動を通して，造形的な魅力や造形的な表現の内容，方法，意図や特徴，表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし，自分の見方や感じ方を広げたり深めたりするにはどうすればよいか。

2 解決の一方策

〈 課題点（1）について 〉

- (1) 材料との出会いや発想の面白さが組み合わさり「ミラクル」がおきる。今回「ミラクル」という言葉を用いていたように，子どもたちがやる気になるフレーズを用いることで，目標を共有することができるのではないかと。
- (2) 子どもたちに選択する機会をもたせ，自由に学ぶ環境を大切にしたい授業であった。思いついたことを自由に表現する場を保障することにより，考える力や試行錯誤しながらも挑戦する力が育つ。その際に，人との交流や材料との交流は大きな力になる。グループ分けされた材料コーナーやタブレットでの紹介はより豊かに発想を広げる助けとなっていた。
- (3) ワークシートについては，大まかなテーマで組むとよいのではないかと。細かくしすぎると難しくなり，表現につながりにくくなる子もいる。思考ツールなどを用いるのも一つの方法である。
- (4) 今回の授業で，授業者は準備の段階から子どもたちの夢を把握していた。一人一人への声かけもしやすく，「願いの種」のイメージを広げるための支援につながった。子どもたちの意見を認め，それに答える提案をすることは大切である。

〈 課題点（2）について 〉

- (1) ボンドを使って，プラスチックに紙粘土を付けようとしていたがなかなか接着できず，乾くまでしばらく手でおさえている子がいた。そのような場合は，両面テープが有効である。様々なことを試行錯誤しながら，何をえば簡単に接着できるかが分かり，それを適切に使うことができることが知識・技能である。それでもできない時などは，指導者が教えることも大事である。これまでつくってきた中での，問題点と解決策を学級全体で共有していくとよい。
- (2) 今日の授業は教室の机で行ったが，もっと大胆に，思いが広がっていくような広い空間で行っても良かったのではないかと。立ち歩きができ，友達の作品のよさを見つけることができる環

境づくり、場づくりが必要。今回は先生がタブレットを使い、友達の作品をテレビに映していたので、それを補うことができていた。

- (3) 材料は大切である。今回は材料が豊富にあったので、思いがどんどん広がっていった。材料集めから子どもたちの意欲が感じられた。また、材料を置く位置にも配慮をしたい。低い位置にあり材料置き場全体が見渡せると、材料を取りに来た時に、「あんな物もある。」と思ってもよらない材料が見つかる場合もある。
- (4) カッターや段ボールカッターなど、刃物を使用するコーナーがあり、最初に扱い方の注意事項を伝えていたのは良かった。

〈 課題点 (3) について 〉

- (1) 今回の授業では、鑑賞の活動は少なかったが、タブレットで撮影した友達の製作の様子をテレビの画面に映して紹介するのは、発想や表現の広がりにつながっていた。
- (2) コメントを付箋に書き込むような鑑賞の方法を取り入れながら、学びを続けていく方法も考えられる。

3 今後の課題

- (1) 接着の仕方について、どんな材質のものには何（ボンド・両面テープ・グルーガン等）で付けると良いのか、経験して理解させたり、必要なことは先生が教えたりして、確かな技能を子どもたちに身につけさせたい。工夫も大事だが、技能的なことは指導しておきたい。
- (2) 子どもたちは、材料のよさや友達の作品のよさから、発想を広げていた。具体的な表現が多かったが、抽象的な表現の仕方があっても良い。今回は「形」に目を向けがちだったが、「色」も大事にし、作品と結びつけられるよう取り入れると良い。
- (3) 指導要領が変わったが本質は変わっていない。「思考・判断・表現」と「知識・技能」のバランスが大事である。教材研究をしっかりと行い、子どもが学習したこと、経験したことが、次につながるような声かけをしていくようにする。
- (4) ワークシートの活用としては、自分の発想を単語やキーワードで表しても良い。また、「こうしたかったけれど、できなかった。」ということも書けるようにしておく支援が行いやすくなる。
- (5) 活動の過程を大事にしてほしい。「一生懸命考えてした。」ということが、その子に残っていれば評価できる。手が止まっているから駄目なのではなく、しっかり考えていることを評価したい。
- (6) 材料集めの中に意欲（人間性・主体性）がある。図画工作科の学びを生活にどう生かすか、材料とどう関わっているかも評価の参考になる。

文責 小松島小学校 竹内 知子
文責 千代小学校 富田 真紀